

釧路南ロータリークラブ会報

第22回 例会報告 2009.12.11 通算1328回

・点 鐘 工藤会長

・ロタリーソング
「我等の生業」



ソングリーダー 木内 治彦会員

また、次年度はCLPを上手に活かし、一人一人の会員の負担をできるだけ少なくし、南クラブの特徴を出して行けたらと思います。

次期木内会長・次期菅井幹事には是非頑張ってくださいと思います。更に、この不況の中、会員増強・退会防止は、なかなか難しい事だと思われませんが、未来の南クラブの為、これから入会してくる会員の為にも、改革を行い入会しやすい体制が必要だと思います。

それでは本日のプログラムは、パスト会長卓話となっております。後ほど宜しくお願い致します。更に、次週は年末家族同伴クリスマス例会です。多くの出席をお願い致します。親睦委員会は用意が大変でしょうが宜しくお願いします。

・会長挨拶



皆様こんにちは。さて、先週は年次総会と言うことで次年度の役員・理事が決定いたしました。しかし、入会3年未満の会員の皆様の出席率が低かった事に、正直少し寂しさを感じました。年次総会の重要性について、勉強会を行ってない事も、原因の一つかと思われます。入会3年未満の勉強会を年明けでもかまいませんので、是非実行して頂きたいと思います。宜しくお願い致します。

・幹事報告



- * 第21回日本ロータリー親睦ゴルフ沖縄大会のご案内を拝受しております。
- * 2010～2011年度ガバナー事務所より、2010～2011年度RI第2500地区地区委員の輩出願、2010～2011年度RI2500地区ガバナー補佐名簿・地区事業案他を拝受しております。
- * 次週は、クリスマス例会です。

・委員会報告

出席委員会

会員 25名 15名出席 メイキャップ 0名 60%

・本日のプログラム

「 歴代会長卓話 」

担当 奉仕プロジェクト委員会

小野パスト会長



鉄ができるまで

鉄のもとには鉄鉱石といわれる石だが、日本ではほとんど採れないので、外国から輸入している。輸入された鉄鉱石は、大きいものは砕き、小さなものは工場で焼き固め、大きさを揃えて使用する。鉄は製鉄所でつくられている。岡山県にある川崎製鉄の水島製鉄所は、水島コンビナートの大部分を占めている。その広さは東京ドーム 250 個分で、工場の敷地を縦に走る道路は 8 km、路線バスも走っている。製鉄所に運ばれた鉄鉱石は、ブレードヤードと呼ばれる広い場所に集められる。ここで、各国から輸入した鉄鉱石を、大きさや種類が少しずつ違うので、同じ割合になるように混ぜる。まぜられた鉄鉱石は、高炉と呼ばれる大きな煙突に入れて溶かし、鉄以外の不純物と分けられる。このとき一緒に混ぜるコークスや石灰石は高炉内の温度を上げて不純物を取り除く手伝いをするものである。これにより品質の良い鉄を、上手に取り出すことができる。こうして取り出された鉄を銑鉄と呼んでいる。

どろどろに溶けた銑鉄は、そのまま貨車に入れられて、次の製鋼工場へ運ばれていく。高炉で、鉄鉱石から取り出された銑鉄は、まだ不純物が残っているので、イオウやリン、ケイ素などを取り除く。高炉

から取り出され、不純物処理をした銑鉄は、まだ炭素をたっぷり 4 ~ 5 % 含んでいるため、硬くてもろい。これを粘りある強じんな鋼にするためには、炭素を取り除かなければならない。この工程に使われるのが転炉である。高炉で生まれ、貨車で運ばれて来た溶けた銑鉄は、転炉の中に入れられ、鋼へと生まれ変わる。

その方法は、炭素を取り除くために、酸素を吹き込む。鉄は炭素の含有率の度合いで、硬くなったり軟らかくなったり、粘りがでたりもろくなったりする。この炭素の割合が 1.7% 以上の鉄を銑鉄と呼び、1.7% 未満の鉄を鋼という。転炉を出て、出来上がった鋼は溶けているため固めなければならない。板や棒などの鋼材を溶けた鋼から直接つくり出すことはできないので、鋼片という半製品にする。このあと鋼片は、巨大なローラーの中を通過して、目的や用途に合わせた厚みや形に仕上げられる。これを圧延いう。鋼片はこうして、鋼鉄や棒鋼、線材、H形鋼などの鋼材に加工される。



例会模様

・次回のプログラム

12月18日(金)

「 クリスマス家族同伴例会 」

会場 釧路ロイヤルイン 11F

担当：親睦活動委員会

・点 鐘 工藤会長

今週の会報担当：長井一広会員